

東海大学機関リポジトリでの DOI の付与について

学長室図書館（システム係）

1. DOI (digital object identifier) とは

1) 概要

- DOIとは、学術論文などのコンテンツの電子データに対して付与される国際的な識別子です。
- コンテンツの所在情報(URI) に変換される仕組みを備えているので、永続的なアクセスを可能にします。
- 「東海大学機関リポジトリ」では、国立情報学研究所(NII)へ申請し、ジャパンリンクセンター(JaLC)の準会員となっているため、「JaLC DOI」の登録が可能です。

※JaLCの会員が登録できる論文等のDOIには、「JaLC DOI」以外に「CrossRef DOI」がありますが、「CrossRef DOI」の登録には、データやシステム面で「JaLC DOI」とは異なる制約があるため、東海大学機関リポジトリでは「JaLC DOI」のみの登録となります。1つのコンテンツに登録できるDOIは1つのみのため、「CrossRef DOI」の登録を希望する場合は、ご注意ください。

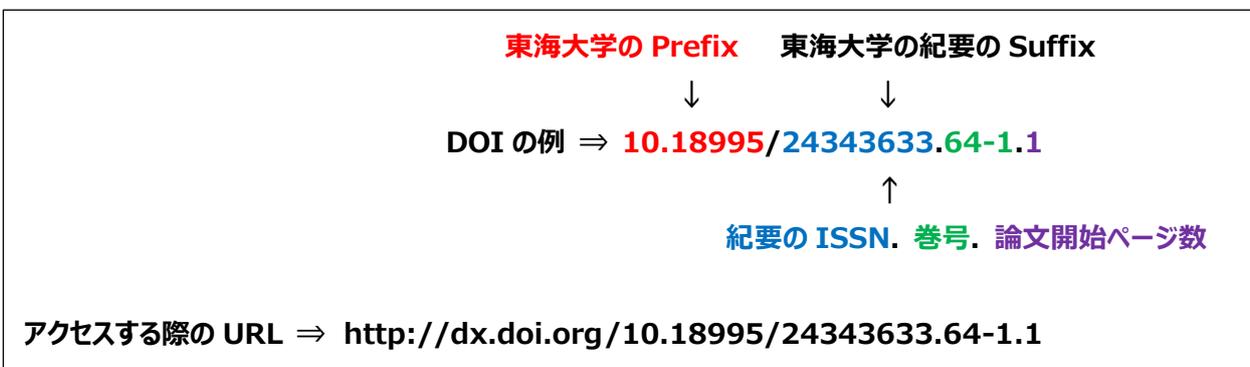
2) 形式

- DOIは、プレフィックスとサフィックスをスラッシュで結合した形で記述されます。 ※<DOIの形式例> 参照
- プレフィックスとは、登録機関に対して割り当てられた文字列です。
- 東海大学では、すでにJaLCの準会員となっているため、DOIのプレフィックスを取得済です。

※東海大学 = 10.18995

- サフィックスは、各登録機関で設定し、重複がないように管理します。東海大学の紀要論文については、以下の例のように定めており、紀要編集委員会にDOIの付与をお願いしています。

<DOIの形式例>



2. DOI を付与できる条件

- 東海大学機関リポジトリに登録していること。
- 目録情報（メタデータ）のみでなく、論文全文のPDFファイルも登録し、一般に公開していること。

3. 参考資料

- ジャパンリンクセンター(JaLC) <https://japanlinkcenter.org/top/index.html>
- 国立国会図書館における DOI 付与 <https://www.ndl.go.jp/jp/dlib/cooperation/doi.html>
- IRDB データ提供機関のための DOI 管理・メタデータ入力ガイドライン : JPCOAR スキーマ ver2.0.x 編 <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000282>